

2013
平成25年

評論家・樋口恵子さん



葛西臨海公園にて

迎春

多田区長

今、まさに「人生100年時代」を迎えようとしています。今回の新春対談は、女性の視点から社会問題に鋭く切り込む、評論家の樋口恵子さんをお招きし、多田区長と共に、高齢社会の現状や展望について語っていただきました。



新春さわやかトーク

「人生100年時代」、高齢社会の未来を語る

思いも寄らなかった 女性差別の現実

区長 あけましておめでとうございます。

樋口 おめでとうございます。

区長 今年もどうぞよろしくお祈りします。先生には以前から大変お世話になり、ご指導もいただいておりますが、改めてお話しができることをうれしく思っています。

樋口 江戸川区には、女性団体の集まりや講演会、シンポジウムなどで、何度もお招きいただいておりますので、親しみがあります。

区長 ありがとうございます。先生は東京大学の出身でいらつしゃいますよね。東京大学と聞くだけで秀才だと思ってしまうのですが。

樋口 そんなことはないですよ(笑)。

区長 先生は、大学を卒業されたら通信社の記者などを経て、フリーのジャーナリストとして現在も活躍されています。また、多くの大学でも教鞭を執られ、女性問題や人権問題、そして高齢者福祉などを研究されていらつしゃいますよね。

樋口 はい、私が大学を卒業した昭和31年は、経済白書で「もはや戦後ではない」と言われた年でした。当時、就職難でしたが、ジャーナリストになるために一生懸命勉強していましたので、新聞社などの採用試験には受かる自信がありました。しかし、「女性は募集していない」などの理由で受けさせてくれるところが2社しかなくて…。

(2面へつづく)



■時事通信社に勤務していた頃の樋口さん

高齢社会は平和の配当 全ての世代に居場所と出番を



こぐちけいこ
樋口恵子さん

1932年、東京都生まれ。東京大学文学部美学美術史学科卒業。時事通信社、学習研究社、キャノンを経て、評論活動に入る。東京家政大学名誉教授、NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長。著書に、「祖母力」「私の老い構え」「女、一生の働き方〜貧乏ばあさんから働くハッピーばあさんへ〜」など多数。最新刊に、「大介護時代を生きる」がある。

区長 健康であるということは、自分自身の心掛けも大切ですが、社会的な仕掛けも必要であり、区でもいろいろなことをやっています。そうした中、私が疑問に思うのは、日本人の平均寿命です。今、男性が79歳、女性が86歳で、7歳の差があります。また、区内では100歳を超えた方が現在135人いらっしゃいます。そのうち男性が15人、全体の1割程度です。なぜ、このような差があるのでしょうか？

樋口 私が思うには、近年、男女平等になってきたと言われている、これまで長い間、男性が支配してきた社会でしたよね。それをいいことに、飲みたい放題、遊びたい放題で、結局、不摂生な生活になる。こういう部分が大いいたではないでしょうか。

区長 えっ、そうですか(笑)。

樋口 それと、「男性は外で一生懸命に働き、女性は家事・育児」という性別による分業がありました。この、男性の仕事一辺倒のライフスタイルは、様々な環境を体験していないため、あまり長寿向きではないのだと思います。

区長 会社人間、あるいは、仕事が生きたいという方々が多かったのかもしれないですね。

樋口 そうですね。私自身も、自分自身の心掛けも大切ですが、社会的な仕掛けも必要であり、区でもいろいろなことをやっています。そうした中、私が疑問に思うのは、日本人の平均寿命です。今、男性が79歳、女性が86歳で、7歳の差があります。また、区内では100歳を超えた方が現在135人いらっしゃいます。そのうち男性が15人、全体の1割程度です。なぜ、このような差があるのでしょうか？

区長 私が思うには、近年、男女平等になってきたと言われている、これまで長い間、男性が支配してきた社会でしたよね。それをいいことに、飲みたい放題、遊びたい放題で、結局、不摂生な生活になる。こういう部分が大いいたではないでしょうか。

区長 えっ、そうですか(笑)。

樋口 それと、「男性は外で一生懸命に働き、女性は家事・育児」という性別による分業がありました。この、男性の仕事一辺倒のライフスタイルは、様々な環境を体験していないため、あまり長寿向きではないのだと思います。

区長 会社人間、あるいは、仕事が生きたいという方々が多かったのかもしれないですね。

区長 健康であるというところは、自分自身の心掛けも大切ですが、社会的な仕掛けも必要であり、区でもいろいろなことをやっています。そうした中、私が疑問に思うのは、日本人の平均寿命です。今、男性が79歳、女性が86歳で、7歳の差があります。また、区内では100歳を超えた方が現在135人いらっしゃいます。そのうち男性が15人、全体の1割程度です。なぜ、このような差があるのでしょうか？

樋口 私が思うには、近年、男女平等になってきたと言われている、これまで長い間、男性が支配してきた社会でしたよね。それをいいことに、飲みたい放題、遊びたい放題で、結局、不摂生な生活になる。こういう部分が大いいたではないでしょうか。

区長 えっ、そうですか(笑)。

樋口 それと、「男性は外で一生懸命に働き、女性は家事・育児」という性別による分業がありました。この、男性の仕事一辺倒のライフスタイルは、様々な環境を体験していないため、あまり長寿向きではないのだと思います。

区長 会社人間、あるいは、仕事が生きたいという方々が多かったのかもしれないですね。

区長 健康であるというところは、自分自身の心掛けも大切ですが、社会的な仕掛けも必要であり、区でもいろいろなことをやっています。そうした中、私が疑問に思うのは、日本人の平均寿命です。今、男性が79歳、女性が86歳で、7歳の差があります。また、区内では100歳を超えた方が現在135人いらっしゃいます。そのうち男性が15人、全体の1割程度です。なぜ、このような差があるのでしょうか？

樋口 私が思うには、近年、男女平等になってきたと言われている、これまで長い間、男性が支配してきた社会でしたよね。それをいいことに、飲みたい放題、遊びたい放題で、結局、不摂生な生活になる。こういう部分が大いいたではないでしょうか。

区長 えっ、そうですか(笑)。

樋口 それと、「男性は外で一生懸命に働き、女性は家事・育児」という性別による分業がありました。この、男性の仕事一辺倒のライフスタイルは、様々な環境を体験していないため、あまり長寿向きではないのだと思います。

区長 会社人間、あるいは、仕事が生きたいという方々が多かったのかもしれないですね。



(右下からつづく)



新しい時代の幕開けを 良きコミュニティで支える



江戸川区長 多田正見

「大介護時代」を
生きるために

区長 介護保険が始まるまで、先生は制度を考える審議会の委員でしたよね。当時の先生のコメントは、今でも覚えています。「今までお嫁さんが介護を一生懸命やっていることは親孝行であり、親の面倒を見ることは当たり前という風習があった。しかし、そのことから女性を解放しなければならぬ。つまり、家庭介護から社会介護へと移行させ、その制度を国家が保障しなければ介護保険の意味がない」と。それを聞いたとき、「介護」の本質を教えられた気がしました。

樋口 介護の問題に関しては、私が予見したとおりになってきたと思います。今まで介護の第一幕だとすると、まさに今年あたりから介護の第二幕、「大介護時代」が始まると思います。人口構成が大きく変わり、一人のお年寄りのそばに、一人の元気な世代の介護者がいるという家族像が崩れつつあります。これからは、介護に対して社会のあらゆる力を総動員して、総力戦で高齢者を支える時代になっていきます。すなわち、これからの介護のキーワードは「地域」だと思っています。

区長 今、先生は「地域」というキーワードをおっしゃいましたが、地域と言えばコミュニティであり、良い地域コミュニティがないと、より良い介護基盤を築いていくことはできません。先生は、今回の東日本大震災で区民のみならず、被災地のためにと義援金を寄せてくださいました。その額が数か月で3億7000万円

円を基にして論じていらっしやる点が多いのではないのでしょうか。

区長 現在は、3億8000万円くらいになっていますが、この金額は他区と比べても群を抜いています。これは、区民のみなさんの思いやりの気持ちです。私は、これも一つのコミュニティの表れであり、このような心気意は、いろいろな場面で出てくると思います。

樋口 改めて、区民の方の温かい気持ちを実感できましたね。防災を考える上で一番大切なことは、普段から地域の中で差別なく、一人も置き去りにせず、みんなで支え合って生きていく社会を作ることだと思えます。今、区長さんがおっしゃったことは、「区民の方が災害を人ごとと思わずに、我が身のことと思ってその痛みを分かち合う。そして、一人ひとりの思いが集まれば大きな力になる」ということですね。これは、日頃から良いコミュニティが築かれていなければ実現できないことです。

区長 とても誇りに思っています。自分の幸せはもちろんだと思いますが、他人の幸せも考えなければいけないという思いを、みなさんがどのようになっているかと思っています。こういう気持ちは、子どもの頃から培っていくことが大切ですよ。

「大介護時代」を
生きるために

区長 先生は長らく「高齢社会をよくする女性の会」(下欄参照)を主宰されています。

樋口 今年でちょうど設立30周年を迎えます。

区長 とても先見性があり、多角的な取り組みをされていると思います。私も先生の勧めで入会しています。時々、講演を聴かせていただきますが、先生はすばらしい言葉をよくお創りにされますよね。先ほどの「大介護時代」も先生が創った言葉だと思えます。ほかにも「ローバ(老婆)は一日にして成らず」とか。

区長 先生は長らく「高齢社会をよくする女性の会」(下欄参照)を主宰されています。

樋口 今年でちょうど設立30周年を迎えます。

区長 とても先見性があり、多角的な取り組みをされていると思います。私も先生の勧めで入会しています。時々、講演を聴かせていただきますが、先生はすばらしい言葉をよくお創りにされますよね。先ほどの「大介護時代」も先生が創った言葉だと思えます。ほかにも「ローバ(老婆)は一日にして成らず」とか。

区長 先生は長らく「高齢社会をよくする女性の会」(下欄参照)を主宰されています。

樋口 今年でちょうど設立30周年を迎えます。

区長 とても先見性があり、多角的な取り組みをされていると思います。私も先生の勧めで入会しています。時々、講演を聴かせていただきますが、先生はすばらしい言葉をよくお創りにされますよね。先ほどの「大介護時代」も先生が創った言葉だと思えます。ほかにも「ローバ(老婆)は一日にして成らず」とか。



(左上につづく)

シルバーお助け隊 主に65歳以上の熟年者のみの世帯を対象に、隊員一人が1時間程度で完了する家庭内外の簡易な業務を行います。利用料は1回あたり300円。☎熟年人材センター ☎(3652) 5091

高齢社会をよくする女性の会 昭和58年設立。平成17年にNPO法人となる。個人会員約900名、グループ会員約80団体、賛助会員9名。会員は、全国各地の研究者、福祉・医療専門職、行政職員、地域ボランティアリーダー、主婦など多様。

(3面からつづく)

をしていくことが大切な柱の一つになります。そしてもう一つの柱は、多くの方々地域の中で活躍していただき、もともと元気になっていただくことです。私は、この二本の柱を確立していく必要があると思うのです。

樋口 元気な高齢者に社会参加をしようという入り口は、多様で無数にあつていいと思います。こうした社会活動が病予防になり、ひいては社会的な介護予防につながります。私流のフレーズで申しますと、『歩いて買物、近くに仲間、ちよつと稼げる仕事があつて、これが本当の介護予防』です。

区長 いいフレーズですね、私も使わせていただきます。**樋口** 今後、元気な高齢者が増えて、日本中の介護保険の要介護認定率が江戸川区並みに下がっていけば、ものすごく介護費用の圧縮になりますよ。

区長 江戸川区の高齢者はとても元気だと思えます。しかし、これを維持していくためには、行政の力だけでは限界があります。区民のみなさんがこれからの高齢社会をどう生きるのかを、自分自身の問題として前向きに考えていただくことが大切ですね。

樋口 明るく考えなければバチが当たりますよ。私たち高齢者は、平和と豊かさのおかげで今を生きていることができ、そして「人生100年時代」という新しい社会の恩恵を受受できるのです。こんなに恵まれた社会を元気に過ごしていかなければ、長生きができずに亡くなられた方々に顔向けができません。

区長 そのとおりですね。それと、目標を持って何かに全力で打ち込んでいる方は健康長寿だと思えます。例えば、プロスキーヤーで登山家の三浦雄一郎さんが、今年、80歳でエベレスト登頂に挑戦するそうです。三浦さんは70歳と75歳で登頂して、今回で3回目です。これは、エベレスト登頂という目標に向かって人生をかけていると思うのです。

樋口 女性の参政権の神様と言われた市川房枝さんが生前80歳の頃、新聞のインタビューで「元氣な理由は何ですか?」と聞かれ、「私にはすることがある」と答えていらっしゃいました。全ての高齢者の方々が、市川さんと同じことが言えるような人生になれたらいいなと思えますね。

区長 「自分は社会的な使命を全うする」という気持ちが大切なんでしょうね。

樋口 今日は、江戸川区の高齢者の方々が大変お元氣でいらつしやることを伺うことができました。私の「希望

の囁きリスト」の中に加えさせていただきま

区長 そうおっしゃつていただき、大変ありがたいです。

樋口 私が高齢者のみなさんに呼びかけたいことは、「我々が人生100年時代の初代として、いいモデルを作つていこう」ということです。私たちがいい生き方をしようとするのは、我々のためだけではありません。これからの世代が幸せになれることに、いつも配慮する高齢者でありたいと思つています。それが超高齢社会、人生100年時代に対する「祝福」と「挑戦」なのです。私は同世代の方に、「今まで結構せいたくをし、年金ももらつて

いる。だから食い逃げだけは絶対にするまいぞ。年を取つてもできることをして、この世の中に少しでもチップを置いていこうじゃないか」と言つています。こういう活動を、ぜひ地域の中で広げていきたいと思つています。

区長 そうですね。ぜひ模範を示してください。私も、追いかける所々まで追いかけてみますから(笑)。**樋口** いえいえ、私なんか沈む夕日を追いかけています。けです(笑)。でも、私は「夕日だって朝日だって同じ太陽だ」と思つていますけどね。

区長 確かに同じ太陽ですね。**樋口** そして、「夕焼けが輝けば、明日は晴れるよ明るい未来!」

区長 「日はまた昇る」ということですね。**樋口** そうです。日はまた昇り、いい人生100年を次の世代が引き継いでくれることを、私は割と樂觀的に確信しております。

区長 今日は元氣の出るお話をいろいろ伺いました。本当にありがとうございます。**樋口** こちらこそ、どうもありがとうございます。江戸川区のご発展を心からお祈り申し上げます。

区長 ありがとうございます。これからも頑張つてまいります。先生におかれましても、ますますご活躍いただき、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。



長生きを心から喜べる社会の実現のために、祝福と挑戦の人生を歩み続ける樋口さん

休日急病診療

- 診療時間⇒9時~17時(急病のみ受け付け。往診は不可)
- 外科は救急病院(「平成24・25年度くらしの便利帳」192ページ参照)をご利用ください。
- 当番医(変更になる場合もあります)、医療機関の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
- ▷江戸川区医師会テレホンセンター=日曜・祝休日9時~17時 ☎(3651)5270/FAX(3654)4902
- ▷東京消防庁救急相談センター=24時間
 - ・携帯電話・PHS・プッシュ回線⇒☎#7119
 - ・ダイヤル回線⇒☎(3212)2323
- ▷東京都保健医療情報センター「ひまわり」=24時間 ☎(5272)0303/FAX(5285)8080

江戸川区医師会休日・夜間急病診療所

- 診療科目⇒小児科・内科
- 診療時間⇒①日曜・祝休日9時~17時 ②毎日21時~翌朝6時
- 問い合わせ⇒①☎(3655)5151/②☎(3651)5270
- ※右欄の江戸川区医師会館の地図を参照。
- ※応急処置のため、薬の処方是最小限となります。

休日急病当番医

- 1月2日**
- 内—辰田内科消化器科クリニック 一之江7-35-22 ☎(5678)5115
 - 小—吉岡医院 南小岩5-16-8 ☎(3657)1037
 - 塚本医院 東小岩5-32-10 ☎(3657)0864
 - 内—同愛会病院 松島1-42-21 ☎(3654)3311
 - 眼—田中眼科 北小岩6-11-1 ☎(3657)5597
 - 耳鼻—耳鼻咽喉科鈴木医院 篠崎町4-3-5 ☎(3676)1150
- 1月3日**
- 内—田村医院 江戸川3-39-26 ☎(3679)0576
 - 小—辰田内科消化器科クリニック 一之江7-35-22 ☎(5678)5115
 - 玉城医院 東小岩6-1-3 ☎(3657)1011
 - 内—きうち内科クリニック 本一色3-39-2 ☎(3655)0600
 - 眼—田中眼科 北小岩6-11-1 ☎(3657)5597
 - 耳鼻—吉田耳鼻科医院 西葛西6-13-7 ☎(5667)6100

1月4日

- 小—アンヌ小児科 東松本1-14-9 ☎(3672)1071
- 内—久田医院 平井1-27-7 ☎(3681)0081
- 小—藤医院 西小岩3-28-14 ☎(3672)9333
- 内—梨山診療科・内科クリニック 東葛西6-1-17 ☎(5675)7223
- 眼—田中眼科 北小岩6-11-1 ☎(3657)5597
- 耳鼻—赤上医院 南小岩7-18-13 ☎(3657)1435

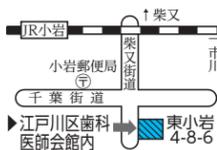
1月6日

- 小—キップスこどもクリニック西葛西 西葛西6-12-1 ☎(5878)3918
- 内—杉山医院 松島2-28-6 ☎(3653)2022
- 小—船堀駅前整形外科内科 船堀2-22-14 ☎(5658)8711
- 速水医院 北小岩6-47-6 ☎(3672)6759
- 内—高野医院 篠崎町4-12-12 ☎(3670)7550
- 眼—二本松眼科病院 平井4-10-7 ☎(3681)1257
- 耳鼻—しんでん耳鼻咽喉科医院 西葛西8-12-17 ☎(6411)4133

休日歯科応急診療

1月2日~4日・6日

- 診療時間⇒9時~17時
- 電話またはファクシミリで予約のうえ、16時30分までにお越しください。休日専用☎・FAX(3672)8215



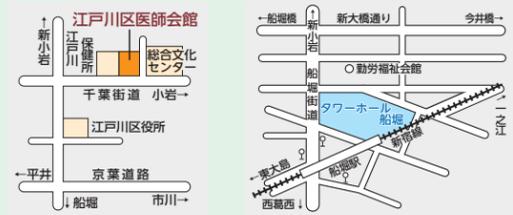
休日応急当番接(整)骨院

- 施術時間⇒9時~17時
- 1月 安藤整骨院 大杉5-6-21 ☎(5678)0678
- 2日 なめき接骨院 西葛西5-10-14 ☎(5696)2844
- 1月 豊岡接骨院 中央1-18-5 ☎(5662)7663
- 3日 たかもと接骨院 東瑞江2-54-36 ☎(3698)8770
- 1月 後藤整骨院 松江7-22-4 ☎(3652)0225
- 6日 町田接骨院 本一色3-35-2 ☎(3653)6357

●受診の際は必ず健康保険証などを持参してください。

年始 休日急病診療所

- 回 1月4日(金)までの9時~17時
- 診療科目 小児科・内科
- 場 江戸川区医師会館☎(3655)5151/江戸川区医師会医療検査センター(タワーホール船堀6階)☎(5676)7799=開設時間内のみ



えどがわ区民ニュース 新春1月号放映中!

新春対談

「人生100年時代」、高齢社会の未来を語る

- ◆CATVで放送中!
- ◎J:COM江戸川 11チャンネル (9時から/12時から/20時から)
- ◆えどがわ区民ニュース Broad Band <http://www.news.city.edogawa.tokyo.jp/> スマートフォンでも快適にご覧いただけます。
- 問 DVDなどの貸し出し・申し込み ☎映像広報係☎(5662)6167

江戸川区成人式

回 1月14日(祝) 場 総合文化センター 平成4年4月2日~5年4月1日に生まれた方 問 青少年係☎(5662)1629